

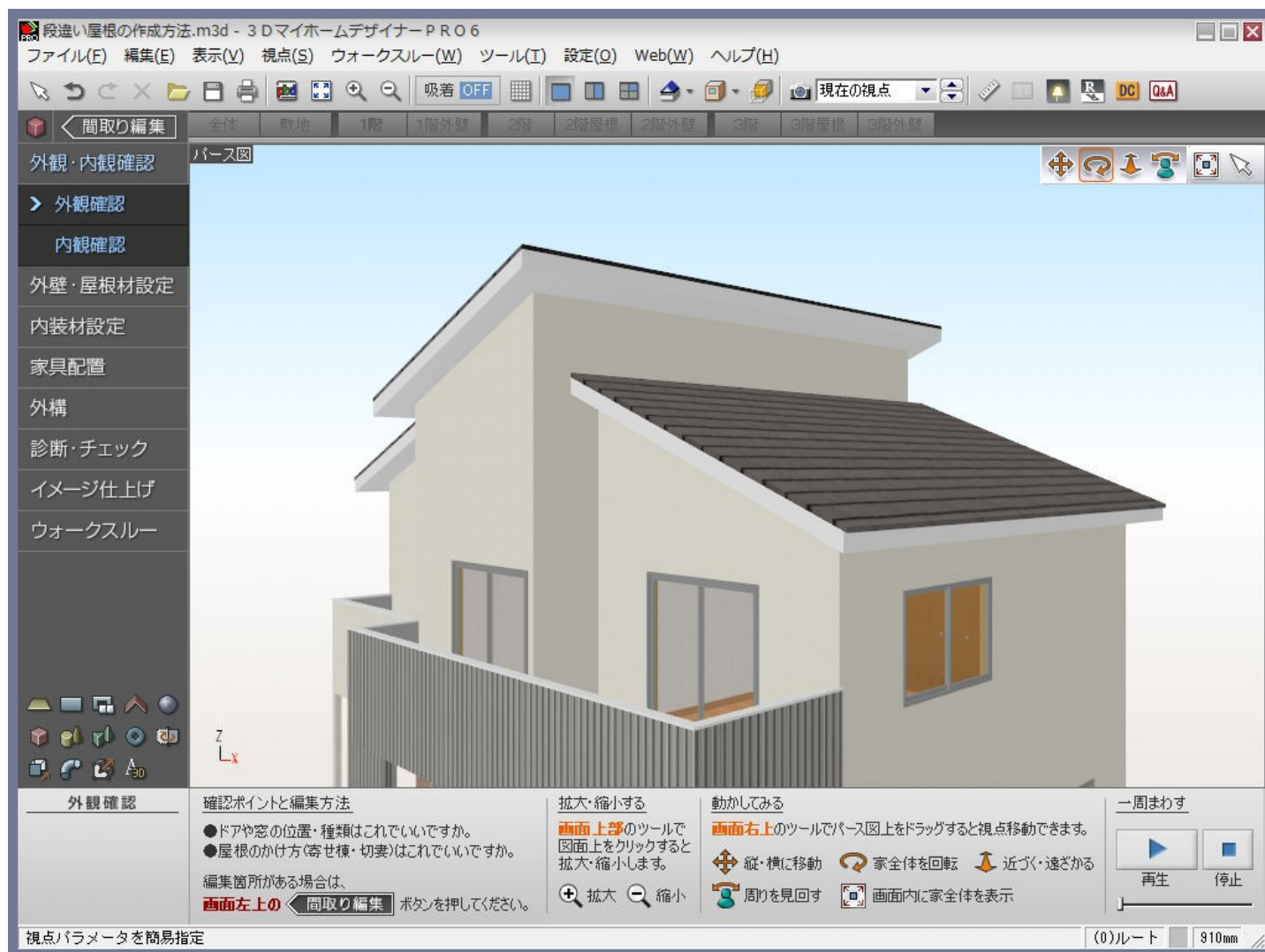
段違い屋根の作成方法

段違い(差し掛け)屋根は、2階建ての場合、間取り画面で3階に仮の部屋を作成し、立体化設定で3階の階高、天井高を設定するだけで作成できます。

屋根は自動生成された屋根の軒編集だけで対応できます。

この資料では2階建ての場合で説明しています。

完成例



※「3DマイホームデザイナーPRO6」で作成しております。

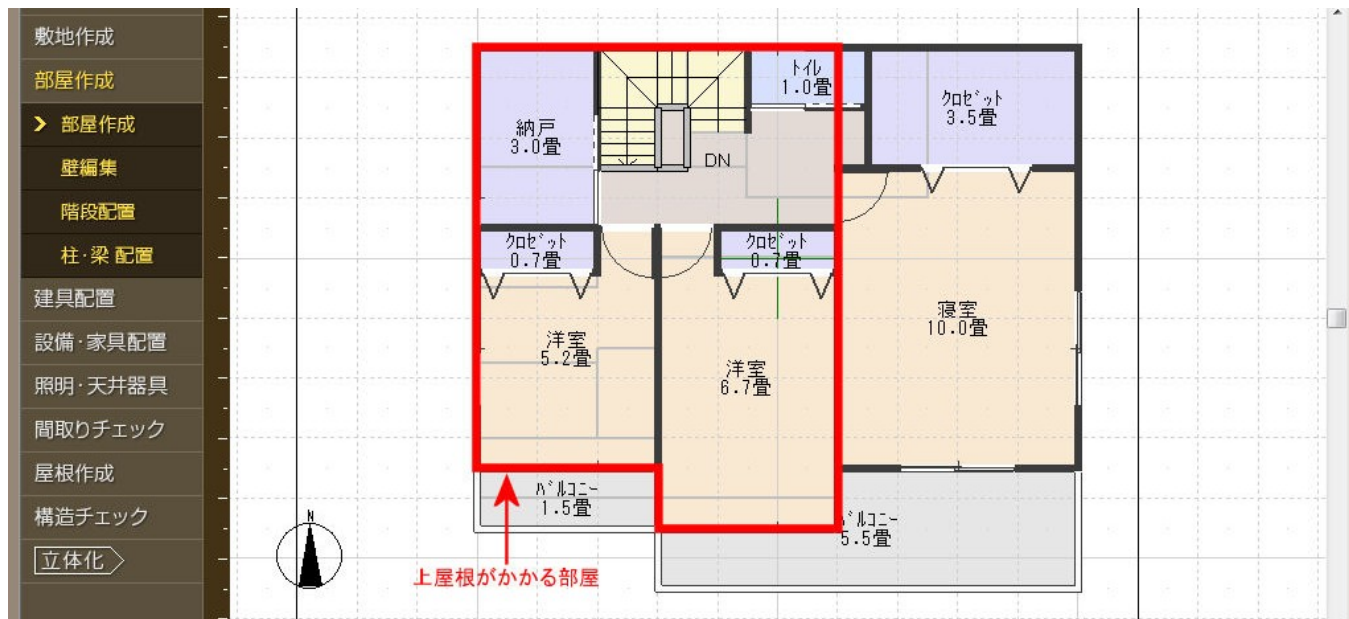
対象バージョン

3DマイホームデザイナーPRO6、PRO5、LS2、マイホームデザイナーLS

操作1

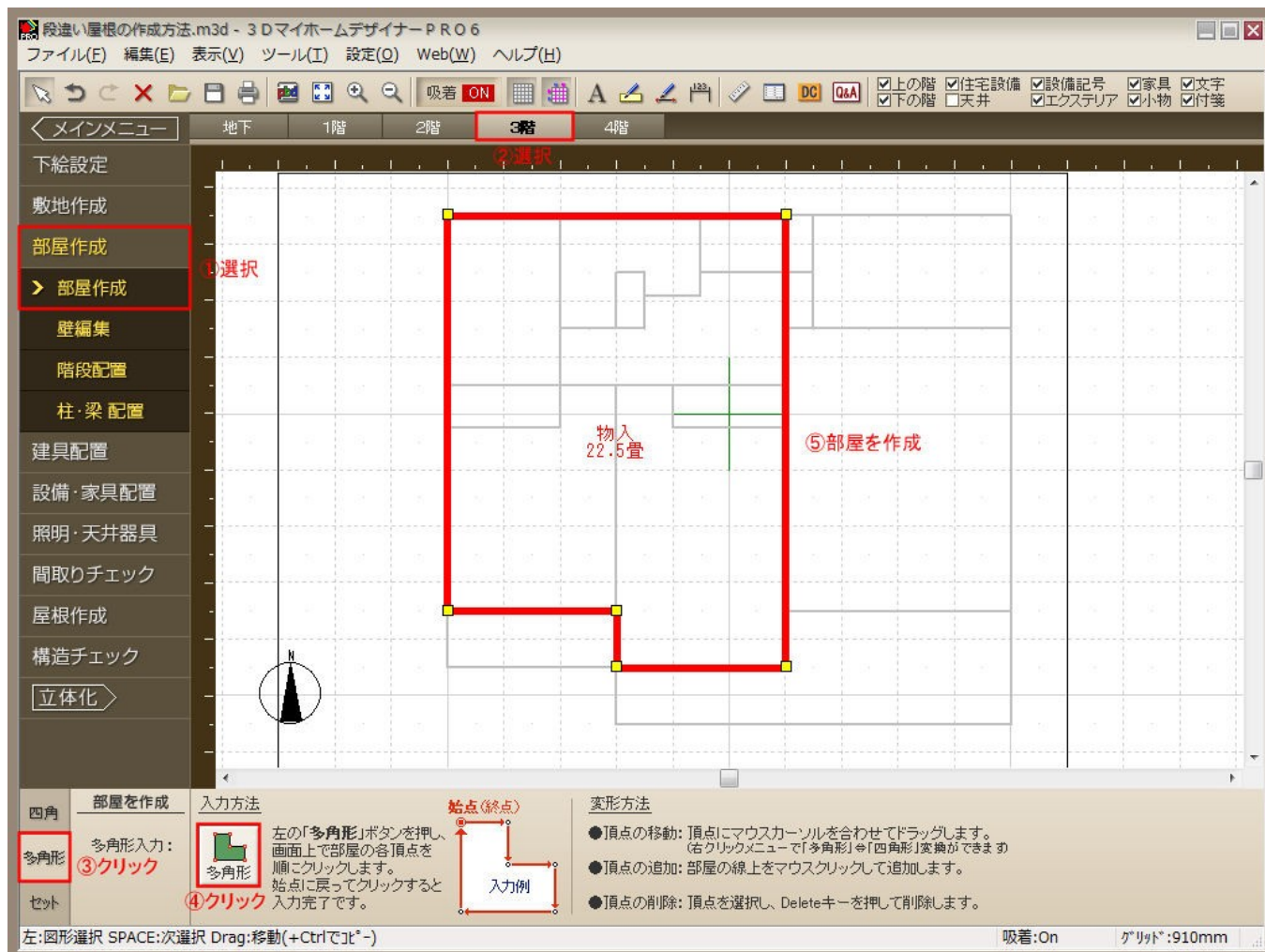
段違い屋根の上屋根が掛かる部分に対して、3階に部屋を作成します。

1) フロアタブの[2階]を選択し、2階の間取りで段違いの屋根の上屋根が掛かる部分を確認します。



2) 間取り画面でナビの[部屋作成]—[部屋作成]を選択し、フロアタブの[3階]を選択します。

パレットの[多角形]をクリックし、入力方法の[多角形]ボタンをクリックして上屋根が掛かる部屋を作成します。



3) [設定]メニューの[立体化設定(外装・内装・屋根・階高)]を選択します。

[階高・壁厚]タブに切り替え、3階の「天井高」に「100mm」、「階高」に「101mm」と入力して[OK]をクリックします。

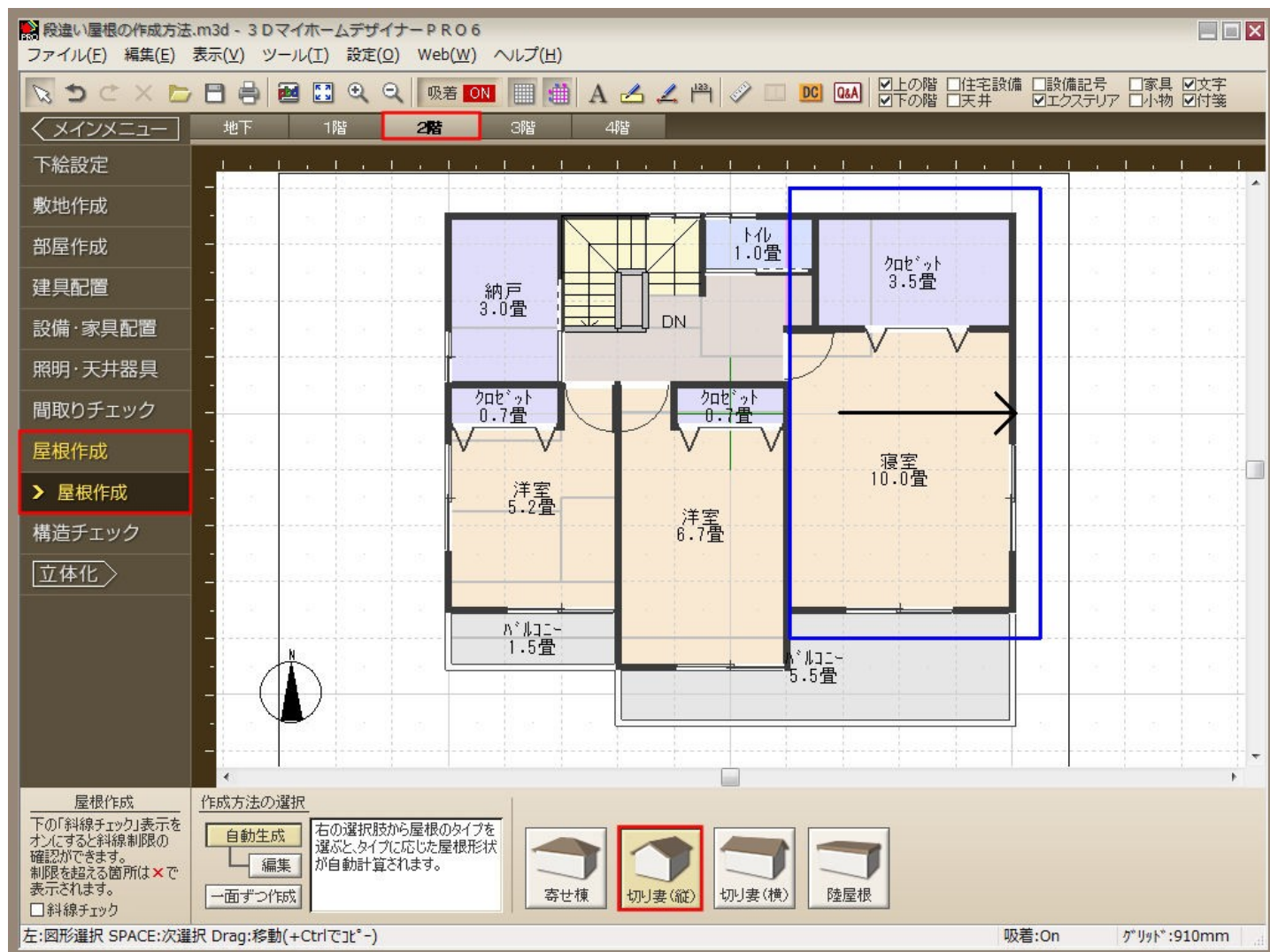


操作2 自動生成される屋根を編集します。

1) ナビの[屋根作成]―[屋根作成]を選択し、フロアタブの[2階]を選択します。

2) パレットから自動生成される屋根の[切り妻(縦)]もしくは[切り妻(横)]をクリックします。

2階には段違い屋根の下屋根が自動生成されます。



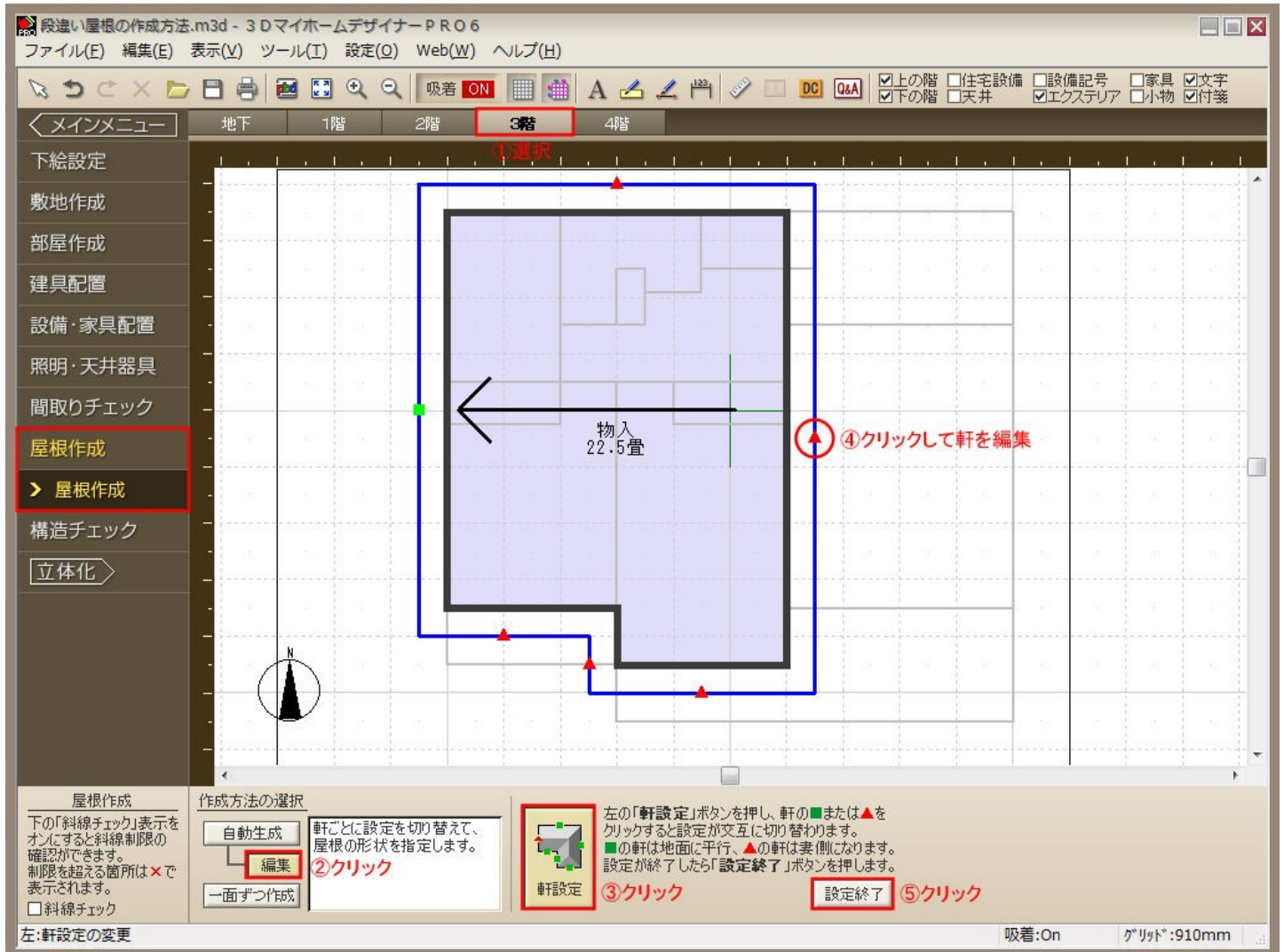
3) フロアタブの[3階]を選択します。

3階の屋根は切り妻屋根になっているため、軒先を編集して片流れ屋根にする必要があります。

パレットの[編集]ボタンをクリックし、[軒設定]ボタンをクリックします。

4) 段違いになる側の軒先の「」をクリックして「」に設定します。

設定後、パレットの[設定終了]ボタンをクリックします。



5) [立体化]して3D画面で確認します。

この方法で作成すれば、上階(この資料では『3階』)を収納スペースなどに利用する場合、窓が配置できます。

